

第3回周南市まちづくり総合計画審議会 会 議 録

日 時：平成26年7月24日（木）

場 所：道の駅ソレーネ周南 研修交流室

【会 議 次 第】

- 1 開 会
- 2 議 事
 - (1)基本構想（素案）の審議について
 - (2)基本計画分野別計画・主要プロジェクト（素案）について
 - (3)各部会での審議
 - ・部会長の選出
 - ・今後の日程について
- 3 閉 会

《 事前配付資料 》

- ・ 「目指すまちの姿」の実現に向けた主要プロジェクト
- ・ 基本計画 分野別計画体系図

《 当日配付資料 》

- ・ 第2次周南市まちづくり総合計画基本計画(素案)
- ・ 合併後のまちづくりの状況について
- ・ 第2回まちづくり総合計画審議会(2014/06/17)発言概要
- ・ 基本構想(素案)に関する意見や提案等
- ・ 【参考様式】基本計画・主要プロジェクト(素案)に関する意見・提案等
- ・ 第3回周南市まちづくり総合計画審議会 座席表

第3回周南市まちづくり総合計画審議会 会議録

- 日 時 平成26年7月24日(木) 14時30分～16時30分
- 場 所 道の駅ソレーネ周南 研修交流室
- 出席者 ・委員33名(敬称略・順不同)
- 原田浩樹、西岡志保子、岡成靖子、重高健吾、大山政男、佐野千鶴子、松田富雄、藤村和義、向谷静波、竹島 弘、原田邦昭、佐藤英樹、近間純栄、山本 淳、早川沙織、齊藤由里恵、目山直樹、有馬俊雅、宮崎 進、酒井隆行、安永 守、石川光生、片山寿世、徳原陽子、福江宣子、藤井あゆみ、升崎美彦、山崎勝幸、吉岡 治、丸山和之、村川哲夫、清水嘉子、棚田敬治
- ・事務局 6名
- 住田企画総務部長、原田政策企画課長、高木課長補佐、有間係長、中村主査、山本主任
- 資 料 ・会議次第のとおり

会 議 議 事 録

1 開 会

2 議 事

(1) 基本構想(素案)の審議について

[事務局]

「第2回まちづくり総合計画審議会(2014/06/17)」発言概要に沿って説明

[会長]

第2回審議会でバックデータなどの補足をお願いしましたが、参考資料が一冊追加されていますので一部は対応されていると思います。

また、文章中の文字表現などについては、今後、事務局で対応されると思います。

その他に「新しい公共」の概念図をわかりやすく変更するなどの工夫や、「∞(無限)の～」という表現に対して委員の中でも色々と解釈が分かれること、各委員が指摘されている14ページに対する意見などは、答申の中で指摘していくことになると思います。

また、「商業集積を商店街活性化の中心に取り入れてもらいたい」という意見については、政策にあたると思われまますので、通常、基本計画でもはっきりと言わない部分ですが、これから各部会で審議していく中のご検討いただけたらと思います。

基本構想は「全体の方向付け」、基本計画は行政計画を進める上で「個別分野の方針」

を明文化してく性質のものです。

これからの部会審議で具体的な意見をいただきながら進めていこうと思います。

基本構想(素案)について、他の委員さんからご意見はありますか。

特にご意見がないようなら、議題2に移ります。

・・・・意見なし・・・・

(2) 基本計画分野別計画・主要プロジェクト(素案)について

[事務局]

「第2次周南市まちづくり総合計画 基本計画(素案)」について説明

「合併後のまちづくりの状況について」について説明

[会長]

確認ですが、第2回審議会でお願した地区別のデータ資料は、今回は対応されていないのですね。また、対応されていないなら、その点について補足される予定はありますか。

[事務局]

今後、別途の資料としてご用意します。

[委員]

例えば17ページですが、「代表的な目標指標」の「目標値」が検討中というのは問題ありませんか。

[事務局]

本年度、まちづくり総合計画とは別に、各課が個別計画を策定中であり、その詳細が決まっていないものもあるため、現時点では「検討中」としている指標もあります。

[会長]

総合計画審議会が終わるまでに、目標指標が確定することはないのですね。

[事務局]

各課が個別計画策定に係る審議会を開催しており、その進捗状況によっては、「目標値」をお示しできる指標もあります。

[会長]

「推進施策の展開」の中に \square とあるが、何番の主要プロジェクトか分かるようにしてください。また主要プロジェクトがどういう基準で選ばれているのかももう少し詳しく説明してください。

それと「分野別体系図」の「推進施策」の中で、ピンク色の網掛けの施策がありますが、これは主要プロジェクトに関係し、重点的に取り組む施策ということで間違いありませんか。

最後に、ピンク色に網掛けされた「推進施策」は、主要プロジェクトに横断的に入ることあるのですか？

[事務局]

7つの主要プロジェクトを選んだ根本的な理由は、人口減少社会へ対応するため「少子化対策」と「魅力ある地域の創造」に取り組むことが重要だと考えたからです。

また、「推進施策の展開」にある^主については、何番目の主要プロジェクトか分かるような掲載方法を検討します。

それから、3ページの3行目にある「創業・就労の支援」が、4ページの下から3行目にも再掲されているように、「推進施策」によっては横断的に主要プロジェクトに含まれるものもあります。

[委員]

主要プロジェクトの中で「文化」が触れられておらず、市民館の必要性に対する調査がなされていないのが残念です。文化協会としては、総合計画の中で、市民館の代替施設・機能について触れていただきたかったと思います。

[事務局]

文化・芸術は、短期的・集中的に取り組むことも必要かもしれませんが、基本的には永遠・経常的に取り組む分野だと思われまます。前期基本計画の5カ年を見据え、初めて直面する人口減少社会へ対応するための少子化対策を主軸に据え、周南市の価値を高めるための取り組みや持続可能なまちづくりを進めていくための行財政改革を主要プロジェクトに選んでいます。

そのため、「文化」を主要プロジェクトにするかは、もう少し議論が必要だと思います。

[会長]

先日の「周南萌えサミット」を見ますと、「4. まちじゅう賑わいプロジェクト」に上手に「文化」の一端が融合した形だと思いました。

市民館の問題だけを取り上げるのではなく、文化活動全般を「4. まちじゅう賑わいプロジェクト」の中に取り込んでいくイメージがよいのではないのでしょうか。

それと徳山市街地には、徒歩圏内に文化施設が集積しており、そのような条件も踏まえて、主要プロジェクトを検討していただければと思います。

[委員]

「5. 産業活力・富の創造プロジェクト」の中の徳山下松港に新南陽港も加えてください。

また、先日、中学校から「学校運営に関し、地域のみなさんのお手伝いをいただきたい」という協力要請がありました。出来れば協力したいが、そういったことも基本計画で考慮していく必要があると思います。

[事務局]

港湾の名称は徳山下松港となっていますが、新南陽港も含まれており、併せて港湾機能の拡充を図っていくこととなります。

それと、6～8ページに「教育の充実」がありますが、周南市では学校と地域が連携し

たコミュニティ・スクールに取り組んでおり、その充実について掲載をしていく予定です。

[会長]

徳山下松港という名称は変更できませんが、「(徳山港区・新南陽港区)」と記載すれば誤解を受けないと思います。

それと、3ページ「3. 自立した地域づくりプロジェクト」の主な取組みに「コミュニティ・スクールの充実」が本来あるべきかと思います。地域で支えるコミュニティ・スクールのような取組みが、ここから漏れると市民に誤解されかねないと思います。

[委員]

「分野別体系図」に列挙されている「推進施策」の順番に根拠はありますか。

[事務局]

基本計画については、各担当課が作成しており、「推進施策」の順番の根拠については、承知しておりません。

[会長]

行政事務の関係で、便宜上、各担当課が列挙しているだけで、順序に序列や重点性はないと思います。

[委員]

各担当課が施策を出される時には、優先して実施したい施策などもあると思われます。それをよく確認し、市民へしっかり伝えていく必要があると思います。

[事務局]

持ち帰り、検討します。

[委員]

「分野別体系図」の「1. 教育・子育て」の「コミュニティ・スクールの充実」、「5. 福祉・健康・医療」の「健康寿命を延ばす健康づくり事業の推進」が主要プロジェクトの主な取組みに選ばれていないことや推進施策が列挙されている順番に疑問があります。

[会長]

お二人の意見を踏まえますと、「推進施策は順番が序列化されている方が市民にはわかりやすい」、「主要プロジェクトに含まれている推進施策が先頭にある方が読みやすい」というご指摘だと思いますので、事務局は検討をお願いします。

[副会長]

今回の審議会は、主要プロジェクトの説明が中心となってしまったため、プロジェクト以外は力を入れないような印象を受けられた方も多いと思います。

しかし、一番重要な点は、「まちづくりの方向性」であって、周南市としてこれから進んで行く方向性を上手に伝えていただけたらと思います。

周南市は教育や文化に関して優れたものをもっているのだから、先ほどご意見のあった施設の老朽化問題にしても、「ハードありきではない」というメッセージ性をまちづくりの方向の中で、もう少し表していただけると市民へ伝わりやすいと思います。

[会長]

私は、主要プロジェクトの意味がよくわかりませんでした。主要プロジェクトは、分野別構成になっている行政計画の中で、各担当課が色々な分野に横断的に協力して取り組むから主要プロジェクトだと思います。分野別構成になっている基本計画だけでは、上手くまちづくりを進められないから、まちづくりの方向や理念をしっかりと軸に据え、分野横断型の主要プロジェクトに取り組む必要性について、もう少し工夫して伝えていただけたらわかりやすくなると思います。

それと、「6. 都市基盤の整備」の「(7)雨水排除施設の整備」を見てもわかりますように、主要プロジェクトに含まれている「推進施策」でも、「分野別体系図」においては、順番的に「上下水道施設の整備」の後にしかこないものもあると思います。つまり、「分野別体系図」の中で、主要プロジェクトの「推進施策」を単純に前にもってあげればよいということではないと思います。

そういうことも踏まえて、検討・補足をしていただけたらと思います。

[委員]

少子化問題を大きな問題として捉えています。今、取り組まなければ、今後取り組んでいくことは難しくなると思います。ぜひ、周南市独自の取組みが欲しいと思います。

それと中山間の問題を中山間だけの問題と捉えるのではなく、企業も巻き込んだ取組みに発展するような働きかけを行っていただきたいと思います。

[事務局]

企業との連携についてですが、水資源の確保という意味では、企業にとっても中山間地域は重要な位置付けであると思われるので、そうした側面も踏まえて、プロジェクトの内容を検討したいと思います。

[会長]

他にご意見やご質問がないようなら、部会での審議に移りたいと思います。まだ他にございましたら、メールやファクスで個別にいただけたらと思います。

(3) 各部会での審議

[事務局]

「各部会での審議」の流れについて説明

・・・・各部会の議事録については別紙・・・・

《部会長の決定》

第1部会 有馬 俊雅 委員 (周南市社会福祉協議会)

第2部会 齊藤 由里恵 委員 (徳山大学)

第3部会 目山 直樹 委員 (徳山工業高等専門学校)

3 閉会

[会長]

自分が所属する部会の分野のみが審議対象ですが、ご意見やご質問がございましたら、メールやファクスなどでお寄せいただけたらと思います。

[事務局]

ありがとうございました。最後に、閉会にあたり企画総務部長の住田がごあいさつを申し上げます。

[企画総務部長]

皆さま、どうもありがとうございました。これからは各部会に分かれまして、分野別計画について審議していただくことになると思います。

また、全体的なご意見も歓迎いたしますので、どんどんご意見をいただけたらと思います。皆さんと一緒に作る計画でありたいと思いますので、よろしくお願いします。

[事務局]

以上をもちまして、「第3回周南市まちづくり総合計画審議会」を終了いたします。本日はありがとうございました。